



実行中！

まずは、政治家自身が身を切る改革!!

昨年11月に、我々大阪維新の会和泉市議団の申し出により開かれた、「議会改革検討会議」の第2回会議が、本年1月27日に開催され、その場において我々が提案しておりました「議員報酬の3割削減」案が大阪維新の会以外のすべての会派の賛同を得られず、議題から除外されることとなりました。昨年の和泉市議会議員選挙では、『まずは、政治家自身が身を切る改革』という標語のもと議員定数削減・議員報酬削減を訴え、市民の皆さまから多くの賛同を得ておりましたが、このような結果となったことは誠に残念でなりません。我々大阪維新の会和泉市議会議員団の力不足を痛感すると共に、他会派の旧態依然とした様子が露見することとなりました。

議員報酬は、民間給与の平均水準と比較しても高く設定され、全国的に議員の好待遇が問題視されていることは周知のとおりです。また、和泉市においてもそれは例外ではありません。しかし、「議員報酬削減の根拠にならない」「和泉市は、大阪府のように赤字ではない」「予算に占める議会費(議員の報酬もこの中に含まれます)の割合は少ないので、削減する必要はない」などといった反対意見により廃案とされた次第です。

ただ議員報酬を減らそうということにどのような根拠を求めているのか不明ですし、和泉市が赤字ではないといっても、起債(民間の感覚から言えば、借金)を抱えているのですから、税の平準化と言えども聞こえは良くても、実質負担の先送りでしかありません。また、人口減少と少子高齢化により生産人口は確実に減少し、既に税収減も確実視されています。人口が増加しているのは、市内でも一部の地域のみであり、他の多くの地域では深刻な人口減少や空き家の問題を抱えているのが和泉市の現状です。縮小していくパイの中で議員報酬の割合が大きくなっていくことは確実なのですから、次世代の事も考えた政治を“今”おこなう必要があると我々は考えているのです。

そして、大阪府が全国にさきがけ実施した私学も含めた高校授業料の無償化の実現は、大阪府議会の議員報酬を全国の都道府県議会の中で最低水準まで削減したことにより可能となった経緯があります。和泉市でも、議員報酬を削減することで、改革への覚悟を市民の皆さまにお示しするとともに、様々な施策の第一歩となる程度の財源は確保することができるのではないかと考えています。この度の結果は、非常に残念ではありますが、今後もしっかりと政治家に厳しい維新政治の実現を訴え続けてまいります。

結びに、我々大阪維新の会和泉市議団3名は、今回の結果を受け、和泉市に対して議員報酬の一部受け取り拒否を表明し、法務局に供託することとし、我々の覚悟をお示しさせて頂くことをご報告致します。

平成29年度第1回定例会(3月議会)一般質問

和泉市の観光施策について

昨年、大阪を訪れた外国人観光客が、941万人となり本年度は、1000万人超になると見込まれている中、本市におけるインバウンドの受け入れ環境整備の現状と課題について質問し、多言語化対応の必要性・無料Wi-Fiの充実・外貨両替機の設置等について要望しました。同時に、しっかりと国・大阪府の補助や助成制度にアンテナをはり環境整備を進め、外国人観光客にストレスを感じさせない環境を構築することも要望しました。また、和泉市に外国人観光客がどうすれば来てくれるのかといった誘客の取り組みについて質問し、ほとんど取り組んでいない現状が明らかになりましたが、担当課にだけ誘客のためのアイデアを考えてもらうのではなく、私自身も一市民として、各ホテルでの和泉市観光の情報提供や、「ビスタポイント」の設置、和泉市観光アプリの作成、市民活動支援事業「ちよいず」のイベントカレンダーへの掲載、そして、国道480号鍋谷峠道路・父鬼バイパス開通により旧道鍋谷峠でのサイクルイベントの開催等を提案させていただきました。今後、どのような受け入れ環境整備が必要なのかを考え、様々な“仕掛け”を提案し、当市の観光振興に取り組んでまいります。

南部地域の活性化について

当市の南部地域には、緑あふれる自然とその中で営まれる農林業の存在があり、この地域資源の有効活用について「(仮称)和泉市農業振興研究施設のあり方」「槇尾川上流部の利用の推進」の2点を代表的な事例として質問しました。まず、農林業が抱える課題である後継者不足と耕作放棄地・遊休農地の増加について、「和泉市版農地バンク」制度の必要性を訴え、農業の6次産業化や新たな担い手育成のための拠点施設の重要性を説き、この農業振興研究施設を行政主導でただ作ればよいというのではなく、本市の農林業の拠点施設として有効に活用できるよう柔軟な発想でじっくりと時間をかけ基本計画を策定していただくよう要望しました。次に、緑あふれる自然「槇尾川上流部の利用の推進」では、槇尾川ダム跡地の現状と今後の整備計画について質問しました。その答として、桜やツツジを植栽し「四季を感じる森づくり」を進めることが確認できました。しかし、私自身は、それだけでは地域の活性化には不十分であるという思いから、さらにファミリー層を呼び込めるような施設としてアスレチックやジップラインの展開を一つの構想として示し、同時に、西国33か所霊場の第4番札所である施福寺や国定公園、青少年の家、グリーンランドなどの地域資源をただ点として捉えるのではなく相互に連携し面として活用していく重要性と、大阪府に対して能動的な動き(つまり、和泉市から府への提案・働きかけ)を要望しました。引き続き、地域資源の有効活用に取り組み地域活性化へとつなげてまいります。

平成29年度予算審査特別委員会(3月7日～3月13日)

予算審査特別委員会にて

昨年の平成27年度決算審査特別委員会に引き続き、本年度予算審査特別委員会にも委員として出席し、本年度予算について調査・審査いたしました。今回は、市長選前という事もあり骨格予算ですが、疑問を感じた10数項目の予算とその事業内容について、しっかりと質問をさせていただきました。

- 「こども医療費の助成」が現行の通院小学6年生まで→中学3年生までと変更になりました。
※7月1日受診分より変更となります。
- 「給食費」がお安くなりました 調理に必要なガス代を本年より市負担に!
※実質月額100円お安くなります。

各委員会での主な内容

- *厚生文教委員会…市内全中学校普通教室に今夏休み中にエアコン設置が完了!
- *都市環境委員会…(仮称)和泉市農業振興研究施設設置の基本計画策定スケジュールの変更
- *総務安全委員会…協議会において、①久保惣ミュージアムタウン構想について②新病院の進捗について、報告がありました。



いいさか光典事務所 〒594-1121 和泉市下宮町88-1 TEL/fax 0725-92-1811

ポスター掲示のご協力、また、共に活動して頂けるボランティアを募集しています。お気軽にご連絡ください。

